

のりちゃんさん

信愛幼稚園園長通信 NO.1

2022年4月8日

発行：横田 法子

4人きょうだいの3番目。兄の「まさと」は学年5つ上、姉の「とくこ」と弟の「まきと」とは2つ違い。服も自転車も教材の類も兄と姉のお下がりが多いポジション。弟は新調が多いことが不満のタネになった。弟はみんなにかわいがられた。本当に可愛らしかった。ストレートヘアーの姉も可愛かった。私はくせ毛天パーで可愛くないと思っていたし、よくむくれたので不細工だった（今思えば可愛かったのに損をした）。ちょっと気に入らないことがあると「どうせ、のりこだけ“と”がないから」（名前のこと）とか、「どうせ、のりこだけA型だから」（ほか3人はAB型）とか言って、仲間外れにされているといいがかりをつけ、ふてくされた。厄介な子だ。

かつて父から聞いた小さい頃のエピソード。夕食後にりんごを食べるかとか聞いたら…兄は「むいてくれるなら食べる」姉は「どっちでもいい」。弟は「うん！」…やっぱりかわいい。私は…「言わなくてもわかるでしょ」…めんどくさい奴。けど、小さいのりちゃんをギュウと抱きしめてあげたい。親に理解され愛されていることを実感したかったのだろう。きょうだいの中で一番感受性が強く、リトマス試験紙みたいに周囲に敏感に反応したようだ。よく地団太を踏み、よくふてくされ、いじけ、意地を張っていた覚えあり。そんな記憶ばかり。でも、そういう態度を制止されたり怒られたりした記憶が全くない。今ならわかる。理解され愛されていた。それは心のヒダにしっかりと刻まれて、私の大切な土台になっている。ありのままの私を受けとめ、すべての感情をしっかり表現させてくれた両親に感謝している。

「よいこになれないわたしでも かみさまはあいしてくださる」って
イエスさまのおことば （こどもさんびか58番）

誰がつくったモノサシで「よいこ」か「わるいこ」かを定めているのだろうか？

106名のこどもたちを個性豊かな職員一同がチームで迎え、新たな一年を共に歩みます。「イエスさまのおことば」をこどもたちの心のヒダに刻めるように、めんどくさいところも、やっかいなところも、ずるいところも、よいところも、まるごとありのままに受けとめるよう努めます。

新任園長共々、どうぞよろしくお願ひします。